

(様式第4号)

上田市交流文化芸術センター運営協議会 会議概要

1 審議会名	上田市交流文化芸術センター運営協議会
2 日時	令和5年9月27日 午後2時10分から午後3時20分まで
3 会場	上田市交流文化芸術センター 第一会議室
4 出席者	関和幸会長、平田利江子副会長、荒井洋文委員、今井拓也委員、岩木功委員 島田和子委員、田中美恵子委員、中村彰委員
5 市側出席者	小林文化スポーツ観光部長、西田館長、緑川副館長、川俣総務担当係長 田澤事業担当係長、庭川主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年10月3日

協 議 事 項 等

美術館協議会との合同会議後に開催

1 開会（副館長）

2 議事

(1) 令和4年度事業報告について

【説明】

(事務局) 資料に沿い事業実績について概要を説明

【協議】

(委員) 施設管理の面で、草刈りなどボランティアで関わっている組織はあるのか。

(事務局) 植栽の管理はシルバー人材センターに委託している。なお、サポーター制度があり公民館コンサートで受付業務などの補助をさせていただいている。

(委員) 地域性も鑑みて自治会で何かサポートできると望ましいと考える。

(事務局) 開館当初は運営を軌道に乗せるため、多くのサポーターの方に環境整備をはじめお手伝いいただいた経緯がある。現在は業務の外部委託も活用することで運営が安定している状況である。

(委員) 芸術家ふれあい事業ではすべての公民館に出向くのか。

(事務局) 数名のアーティストが地域ごとに分かれ、小学校でのクラスコンサートを行った後、その地域の公民館でコンサートを行う流れであり、すべての公民館で実施している。

(委員) 市内の小中学生がサントミュージゼで芸術鑑賞する機会はあるのか。

(事務局) 劇団四季やニッセイ劇場の演劇をサントミュージゼで鑑賞する事業を行っている。

(委員) アウトリーチだけでなく、子どもたちには劇場で生の臨場感を体験してもらうことも大切だと考える。

(事務局) 学校の行事予定への組み込みや交通費の問題など、運営面での課題もあるのが実情である。

(委員) 共催事業を選定する上での基準は何か。

(事務局) 芸術性が高いという前提のもと、自主事業では行わない、市民要望が高く華やかな事業や子ども向けの事業を協議の上選定し、テレビ局やプロモーターと連携し実施している。

(委員) サントミュージゼパートナーズが増加しているがどのようなアプローチをしているのか。

(事務局) 芸術家ふれあい事業への支援という形で、地域性や業種等も考慮しながら個別に理解をいただきながら協賛いただいている。今後の更なるパートナーズ制度の充実のため、他館の状況も参考にしながら研究を進めているところである。

(委員) 交流文化芸術センター運営管理計画を策定してから3年目となるので、年度ごとの決算の推移が分かる資料が欲しい。

(事務局) 次回は収支の推移が分かる資料をお示ししたい。

(委員) 自主事業入場料の増加が著しいが要因は何か。

(事務局) 令和3年度はコロナ禍で大規模公演ができなかったが、令和4年度はそれが回復したことに加えて、大ホールでの大規模演劇公演を実施したことが要因と考えられる。

(委員) 歳出において光熱水費が大きいが近年の状況はどうか。

(事務局) 昨今の原油価格などの影響もあり光熱水費の負担は大きくなっている。電気料金については、電力調達先の切り替えも検討するなど歳出削減に努めている。

(委員) 歳入確保策としてネーミングライツについてはどう考えるか。

(事務局) 当面はサントミュージゼパートナーズの拡充に取り組むこととし、他館の状況や費用対効果も検証しながら進めたい。

(2) 令和5、6年度事業計画について

【説明】

(事務局) 資料に沿い事業進捗と事業計画について概要を説明

【協議】

(委員) コロナ前と違う運営は考えているか。

(事務局) ホールから離れてしまった人たちを戻すためにも、実施事業を市民の皆さんに見える形で御理解いただくとともに生で鑑賞することの素晴らしさを改めて発信していきたい。

(委員) 昨今はコロナだけでなく、地震や気候変動などにさらされる中で、芸術の果たせる役割も変わってきていると感じる。近年、劇場が社会包摂的な機能を持つといわれる中で、鑑賞という機能だけでなく、例えば困窮者の居場所や交流の場となるような機能転換についてどう考えるか。

(事務局) 劇場が持つ社会的役割は非常に注目されている。今後検討しなければならない課題なので共に考えていきたい。

(委員) 演奏家として活動することは厳しい現状がある中で、新進演奏家リサイタルのように若い演奏家を支援する企画をしていただきたい。

(委員) 上田市ではオーケストラ公演が浸透していないので共に協力して告知に努めたい。

(委員) 市民も楽しめる10周年記念事業にして欲しい。

(事務局) 美術館と連携した事業など、市民の皆さんも楽しめる事業を計画していきたい。

3 その他

館長、文化スポーツ観光部長あいさつ

4 閉会 (副館長)